

松 本 市 人 権 関 連 施 策 一 覧

【人権共生課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
松本市 差別撤廃 人権擁護 審議会	1 目的 市長の諮問に応じ、人権行政について調査 審議するもの 2 会議 審議会 8月8日(月)、11月7日(月) 開催 「人権施策取組状況、条例改正諮問・答申」	1 目的 市長の諮問に応じ、人権行政について調査 審議するもの 2 会議 審議会 2月7日(水)開催予定 「人権施策取組状況、(仮称)松本市犯罪被害 者等支援条例」
人権教育 啓発事業	1 広報まつもつによる啓発 ・人権啓発特集ページ(11月号) 2 出前講座他 (1) 職員研修(職員課報告) (2) 出前講座 ア 人権全般 イ 性の多様性 (3) 性の多様性小中学校講座 ア 小中学生講座 イ 教職員研修 3 講演会の開催 人権を考える市民の集い 令和4年11月19日(土) Mウイング6階ホール ・小・中学生人権啓発ポスター掲示 ・中学生人権作文コンテスト松本市表彰式 ・入選作文朗読 ・人権啓発講演会 「誰でも夢は叶えられる ～世界を見て、今思うこと～」 講師 堤 敦朗 氏 (金沢大学融合研究域融合科学系) (参加者 会場 92名) 4 啓発資料の提供 (1) 人権啓発ポスター展 市内小・中学生から募集した人権啓 発ポスター作品を展示 ・令和4年11月1日(火)～13日(日) イオンモール風庭1階 ・令和4年11月19日(土) Mウイング6階ホワイト ・令和4年11月28日(月)～12月27日 (火) Mウイング2階ふれあいロビー ・令和5年1月4日(水)～15日(日) 梓川アカデミア館	1 広報まつもつによる啓発 ・人権啓発特集ページ(11月号) 2 出前講座他 (1) 職員研修(職員課報告) (2) 出前講座 ア 性の多様性 イ 人権全般 (3) 性の多様性小中学校講座 ア 小中学生講座 イ 教職員研修 3 講演会の開催 人権を考える市民の集い 令和5年12月10日(日) Mウイング6階ホール ・小・中学生人権啓発ポスター掲示 ・中学生人権作文コンテスト松本市表彰式 ・入選作文朗読 ・人権の花運動活動報告 ・人権啓発講演会 「予期せぬ妊娠と子どもの権利保障」 講師 小林 千夏氏(うえだみなみ乳児院) (参加者:会場 74名) 4 啓発資料の提供 (1) 人権啓発ポスター展 市内小・中学生から募集した人権啓 発ポスター作品(229点)を展示 ・令和5年11月7日(火)～12月27日 (水) Mウイング3階渡り廊下 ・令和5年11月12日(月)～12月27日 (水) イオンモール松本風庭1階 ・令和5年12月1日(金)～27日(水) Mウイング2階ふれあいロビー ・令和6年1月4日(木)～14日(日) 梓川アカデミア館

<p>(2) 性の多様性啓発動画作成</p> <p>(3) 人権映画の日(12回) Mウイング3階 (参加者137名)</p> <p>(4) 人権教育・啓発DVDの購入、利用促進 地域、企業、学校での人権教育・啓発研修 会等への貸出 ・VHS・DVD保有数217本 ・貸出し本数21本</p> <p>5 地区人権啓発推進事業</p> <p>(1) 目的 市内35地区人権啓発推進協議会による 地区内での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動</p> <p>ア 総会、研修会 令和4年8月2日(火) 「人が大切にされる地域づくりをめざ して」 講師 佐々木 洋一氏 (中信教育事務所 指導主事) (参加者48人)</p> <p>イ 人権同和古文書研究推進事業</p> <p>(7) 6月15日 古文書に学ぶ松本領内の被差別部落 講師 高木美好 氏(参加者20名)</p> <p>(4) 3月30日 古文書からひも解く松本領内の被差 別部落 講師 高木美好 氏(参加者5名)</p> <p>ウ 各地区における人権教育・啓発事業の 実施</p> <p>6 企業人権啓発推進事業 松本市企業人権啓発推進連絡協議会 (令和4年7月1日現在 会員262社)</p> <p>(1) 目的 企業人権啓発推進連絡協議会による 職場での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動 役員会・総会・企業人権セミナー 令和4年7月21日(木) 「休職者を出さない職場づくりと復職」 講師 伊藤かおる 氏 (株コミュニケーションズあい)</p> <p>(3) 人権啓発講座</p> <p>第1回 令和3年8月24日(火) 演 題 性的マイノリティ 講 師 松岡 宗市嗣 氏 (一般社団法人Fair 代表理事) (参加者 会場10名、オンライン6名)</p> <p>第2回 令和4年9月27日(火)</p>	<p>(2) 性の多様性リーフレットデータ作成</p> <p>(3) 人権映画の日(12回) Mウイング3階</p> <p>(4) 人権教育・啓発DVDの購入、利用促進 地域、企業、学校での人権教育・啓発研修 会等への貸出 ・VHS・DVD保有数 218本</p> <p>5 地区人権啓発推進事業</p> <p>(1) 目的 市内35地区人権啓発推進協議会による 地区内での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動</p> <p>ア 総会、研修会 令和5年6月23日(金) 「SDGs 未来都市 松本 ～様々な人権課題と向き合い、人に やさしい地域へ～」 講師 佐々木 洋一氏 (中信教育事務所 指導主事) (参加者47人)</p> <p>イ 人権同和古文書研究推進 (学習会5回)</p> <p>ウ 各地区における人権教育・啓発事業の 実施</p> <p>6 企業人権啓発推進事業 松本市企業人権啓発推進連絡協議会 (令和5年12月1日現在 会員企252社)</p> <p>(1) 目的 企業人権啓発推進連絡協議会による職 場での人権教育・啓発事業の推進</p> <p>(2) 活動 役員会・総会・研修会(県と共催) 令和5年7月31日(月) 「LGBTQと企業 一企業におけるL GBTQ施策のポイントについて」 講師 東 由紀 氏 (Allies Connect 代表)</p> <p>(3) 人権啓発講座 開催予定</p> <p>第1回 8月24日(木) テーマ 「教養としての発達障害」 講 師 新保 文彦 氏 (松本圏域発達障がいサポートマネージャー) (参加者 会場17名、オンライン9名)</p> <p>第2回 9月29日(金) テーマ 「外国人の仲間と働く」 講 師 林 和財(リム・ファザイ) 氏 (サン光機有限会社 代表取締役) (参加者 会場11名、オンライン9名)</p> <p>第3回 10月26日(木) テーマ 「職場におけるメンタルヘルス」</p>
--	--

	<p>演題 障がい者の人権について考える 講師 猪俣 竜 氏 (長野県ヘルプマークディレクター) (参加者 会場14名、オンライン5名) 第3回 令和4年10月19日(水) 演題 働き方改革・ワークアンドライフ バランス 講師 柄沢 康史 氏 (柄沢労働事務所 社会保険労務士) (参加者 会場7名、オンライン11名) 第4回 令和4年11月29日(火) 演題 セクハラ・パワハラについて 講師 厚生労働省 長野労働局 雇用環境・均等室 (参加者 会場6名、オンライン8名)</p>	<p>講師 伊藤 かおる 氏 (株式会社コミュニケーションズ・アイ) (参加者 会場14名、オンライン5名) 第4回 11月15日(水) テーマ 「インターネットを活用した企業 戦略」 講師 南澤 信之 氏 (一般社団法人 セーフティネット研究所) (参加者 会場10名、オンライン5名)</p>
<p>多文化 共生推進 事業</p>	<p>1 目的 日本人も、外国にルーツを持つ人も共に、豊 かで安全に暮らせる多文化共生社会の実現を 目指し、多文化共生推進プランの施策を推進 するもの 2 活動実績 (1) 多文化共生推進プランの進行管理 多文化共生推進協議会の開催(2回) (2) 多文化共生推進プラン施策の実施 ア 地域社会 (ア) 出前講座 4回82人参加 (イ) キーパーソン登録者93人 イ コミュニケーション (ア) 多言語生活ガイドブックの周知 (イ) 庁内文書の翻訳及び通訳の派遣 (ウ) ポルトガル語相談員の配置 毎週月曜日から金曜日 午前9時半～午後3時半 ウ 教育・子育て (ア) 子ども日本語教育センターでの日 本語指導(学校教育課) (イ) 進学前ガイダンス(学校教育課) エ 暮らし (ア) 災害多言語支援センター設置訓練の 実施(長野県と共催) (イ) 多言語防災ハンドブックの周知 (ウ) 就労定着支援研修の周知 (3) 多文化共生プラザの設置運営 ア 相談件数 1,573件 イ 多言語相談者数 延べ382人 ウ イベント 延べ230人参加 (4) 地域日本語教育推進事業の実施 地域日本語教室の開催 10回延べ187人参加</p>	<p>1 目的 日本人も、外国にルーツを持つ人も共に、豊 かで安全に暮らせる多文化共生社会の実現を 目指し、多文化共生推進プランの施策を推進 するもの 2 活動実績 (1) 多文化共生推進プランの進行管理 多文化共生推進協議会の開催(2回) (2) 多文化共生推進プラン施策の実施 ア 地域社会 (ア) 出前講座の実施 (イ) キーパーソン登録の推進 イ コミュニケーション (ア) 多言語生活ガイドブックの周知 (イ) 庁内文書の翻訳及び通訳の派遣 (ウ) ポルトガル語相談員の配置 毎週月曜日から金曜日 午前9時半～午後3時半 ウ 教育・子育て (ア) 子ども日本語教育センターでの日 本語指導(学校教育課) (イ) 進学前ガイダンス(学校教育課) エ 暮らし (ア) 災害多言語支援センター設置訓練の 実施 (イ) 多言語防災ハンドブックの周知 (ウ) 就労定着支援研修の周知 (3) 多文化共生プラザの設置運営 (4) 地域日本語教育推進事業の実施 地域日本語教室の開催</p>

<p>女性センター 相談事業</p>	<p>1 面接相談 心の悩みや夫婦の問題等生活全般について相談員による相談を実施。 時間 午後1時～午後5時 ※第4金のみ午後4時～午後7時 (月・火・木・金) 相談件数 237件 (前年246件)</p> <p>2 電話相談 (1) 電話相談 心の悩みや夫婦の問題等生活全般について、相談員による相談を実施。 時間 午前9時～正午 (毎週火・金、第1・3水) 相談件数 150件 (前年153件)</p> <p>(2) 男性電話相談 仕事や人間関係等の悩みで生きにくさを感じている男性に対して、男性相談員による電話相談を実施。 時間 午後5時～8時 (毎月第2、3、4火) 相談件数 11件 (前年24件)</p> <p>3 女性弁護士相談 法律について女性のための女性弁護士による相談を実施。 毎月第2火・第4月曜日 午後1時30分～午後3時30分 相談件数 92件 (前年77件)</p>	<p>1 面接相談 心の悩みや夫婦の問題等生活全般について相談員による相談を実施。 時間 午後1時～午後5時 ※第4金のみ午後4時～午後7時 (月・火・木・金)</p> <p>2 電話相談 令和4年度と同じ日程で実施中</p> <p>3 女性弁護士相談 令和4年度と同じ日程で実施中</p>
------------------------	---	---

【行政管理課・平和推進課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
松本市平和祈念式典	<p>1 趣 旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土」づくりを進めるため、平和祈念碑「平和の誓い」のもとに市民が集まり、平和の尊さを次世代に継承し、世界恒久平和の実現を祈念するため開催したもの</p> <p>2 期 日 令和4年8月15日（月）</p> <p>3 会 場 あがたの森公園平和ひろば平和祈念碑前及びあがたの森文化会館講堂</p> <p>4 内 容 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小して開催。 黙とう、平和都市宣言朗読、平和への思い発表、平和の集い</p> <p>5 参加者 約100名</p>	<p>1 趣旨 松本市平和都市宣言が目指す「核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土」づくりを進めるため、平和祈念碑「平和の誓い」のもとに市民が集まり、平和の尊さを次世代に継承し、世界恒久平和の実現を祈念するため開催するもの</p> <p>2 期日 令和5年8月15日（火）</p> <p>3 会場 あがたの森公園平和ひろば平和祈念碑前及びあがたの森文化会館講堂</p> <p>4 内容 黙とう、平和都市宣言朗読、平和への思い発表、平和の集い</p> <p>5 参加者 約240名</p>
広島平和記念式典等参加事業	<p>1 趣 旨 原爆が投下された被爆地広島を訪れ、広島市が8月6日に開催している平和記念式典に参加することで、戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさ、平和の尊さを実感し、平和意識高揚を図るもの</p> <p>2 期 日 令和4年8月5日（金）・6日（土）</p> <p>3 参加者 中学生19名（中学校23校代表者各1名。コロナ感染拡大を受け3名が参加辞退） ※安曇中学校、大野川中学校から地区で1名</p> <p>4 内 容 広島平和記念資料館の見学、被爆体験伝承者講話、広島平和記念式典（L I V E視聴）、体験記録集「ひろしまレポート」の作成</p>	<p>1 趣 旨 原爆が投下された被爆地広島を訪れ、広島市が8月6日に開催している平和記念式典に参加することで、戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさ、平和の尊さを実感し、平和意識高揚を図るもの</p> <p>2 期 日 令和5年8月5日（土）～7日（月）</p> <p>3 参加者 (1) 中学生22名（中学校24校代表者各1名。1名が都合により参加辞退） ※安曇中学校、大野川中学校から地区で1名 (2) 松本ユース平和ネットワーク 3名</p> <p>4 内 容 広島平和記念資料館・江田島旧海軍兵学校・呉市大和ミュージアム等の見学、被爆体験伝承者講話、広島平和記念式典への参列、体験記録集「ひろしまレポート」の作成</p>
平和三行詩コンクール	<p>1 趣 旨 平和に関する三行詩を募集・公開し、平和の尊さやいのちの大切さ、戦争の悲惨さなどを多くの皆さんに考えていただく機会を設け、平和の連鎖を継続させるもの</p> <p>2 募集期間 令和4年6月13日（月）～7月8日（金）</p> <p>3 内 容 平和三行詩の募集（1人3作品まで）、表彰</p>	<p>1 趣 旨 平和に関する三行詩を募集・公開し、平和の尊さやいのちの大切さ、戦争の悲惨さなどを多くの皆さんに考えていただく機会を設け、平和の連鎖を継続させるもの</p> <p>2 募集期間 令和5年5月19日（金）～6月14日（水）</p> <p>3 内 容 平和三行詩の募集（1人3作品まで）、表彰</p>

	式（7月24日開催）、まつもと平和ミュージアムへ全作品掲載 4 応募者数・応募総数 102名 202作品	式（8月15日開催）、まつもと平和ミュージアムへ全作品掲載 4 応募者数・応募総数 249名 382作品
オンライン平和学習	1 趣旨 テレビ会議ツールを活用し、戦争体験者や平和資料館学芸員等を講師としたオンライン講話を行い、より多くの小中学生へ平和学習の機会を設けるもの 2 期日 令和5年2月27日（月） 3 対象 女鳥羽中学校2年生 約90名 ※申込みのあった小中学校で開催 4 内容 長崎の被爆体験者による平和講話（国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館）	1 趣旨 テレビ会議ツールを活用し、戦争体験者や平和資料館学芸員等を講師としたオンライン講話を行い、より多くの小中学生へ平和学習の機会を設けるもの 2 期日 通年 3 対象 申込みのあった小中学校 4 内容（プログラム候補） (1) 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（長崎県） (2) 知覧特攻平和会館（鹿児島県） (3) 旧海軍司令部壕事業所（沖縄県） (4) ひめゆり平和祈念資料館（沖縄県）
松本ユース平和ネットワーク	1 趣旨 若者が自ら平和について考え、学習し、発信する活動を行うもの 2 期日 通年 3 在籍メンバー 6名（大学生2名、高校生4名） 4 内容 (1) 駐日ウクライナ大使による平和講演会の主催 (2) 長野県平和学習会での活動発表 (3) 戦争体験者インタビューの実施 (4) 平和三行詩コンクール作品審査への参加 (5) 平和を学ぶ「すごろく」の作成 (6) 平和首長会議主催「平和教育ウェビナー」への参加	1 趣旨 若者が自ら平和について考え、学習し、発信する活動を行うもの 2 期日 通年 3 在籍メンバー 6名（大学生3名、高校生3名） 4 内容 (1) 松本大学サークル「平和創造研究会」との共同活動 (2) 平和三行詩コンクール作品審査への参加 (3) 広島平和記念式典参加事業への随行 (4) グリーンヒルズ小学校（長野市）との平和交流 (5) 中央図書館平和資料コーナーの更新

【職員課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
職員研修	1 内容 障がいのある方への対応 2 期日 令和4年4月18日(月) 3 対象 新規採用職員 4 講師 障がい福祉課職員	1 内容 障がいのある方への対応 2 期日 令和5年4月14日(金) 3 対象 新規採用職員 4 講師 障がい福祉課職員
職員研修	1 内容 人権・男女共生・国際交流 2 期日 令和4年5月13日(金) 3 対象 新規採用職員 4 講師 人権共生課職員	1 内容 人権・男女共生・国際交流 2 期日 令和5年5月19日(金) 3 対象 新規採用職員 4 講師 人権共生課職員

職員研修	<p>1 研修名 障がい者差別解消法・あいさぽーター研修</p> <p>2 期日 令和4年8月23日(火)</p> <p>3 対象 全職員(部課長人権研修対象)</p> <p>4 講師 障がい福祉課職員</p>	<p>1 研修名 障がい者理解促進研修</p> <p>2 期日 令和5年9月26日(火)</p> <p>3 対象 全職員(部課長人権研修対象)</p> <p>4 講師 ハローワーク松本職員</p>
職員研修	<p>1 研修名 人権研修</p> <p>2 対象、内容、期日、講師 全職員(部課長人権研修対象)</p> <p>(1) 性的マイノリティ 令和4年8月4日(木) NPO 法人共生社会を作る性的マイノリティ支援全国ネットワーク 大賀 一樹氏 令和4年10月5日(水) ダイバーシティ信州 小泉 涼氏</p> <p>(2) 多文化共生 令和4年8月31日(水) 東京出入力在留管理局在留支援部門職員</p>	<p>1 研修名 人権研修</p> <p>2 対象、内容、期日、講師 全職員(部課長人権研修対象)</p> <p>(1) 男女共同参画 令和5年8月7日(月) 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表 早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員 浅野 幸子氏</p> <p>(2) セクシャルマイノリティ 令和5年8月8日(火) NPO法人子ども・若者サポート はみんぐピア・スタッフ 坂井 真琴氏</p> <p>(3) 多文化共生 令和5年8月28日(月) 東京出入力在留管理局在留支援部門職員</p>
職員研修	<p>1 研修名 障がい者理解促進研修</p> <p>2 期日 令和4年10月11日(火)</p> <p>3 対象 全職員(部課長人権研修対象)</p> <p>4 講師 ハローワーク松本職員</p>	<p>1 研修名 障がい者理解促進研修</p> <p>2 期日 令和5年9月26日(火)</p> <p>3 対象 全職員(部課長人権研修対象)</p> <p>4 講師 ハローワーク松本職員</p>
職員研修	<p>1 研修名 認知症に関する研修</p> <p>2 期日 令和4年10月14日(金)</p> <p>3 対象 全職員(部課長人権研修対象)</p> <p>4 講師 高齢福祉課職員</p>	<p>1 研修名 認知症に関する研修</p> <p>2 期日 令和5年10月13日(金)</p> <p>3 対象 全職員(部課長人権研修対象)</p> <p>4 講師 高齢福祉課職員</p>

【総合戦略室】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
ユニバーサルデザイン意識啓発事業	<p>1 趣旨 平成20年5月に「松本市ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定し、ユニバーサルデザインの考え方をまちづくりの基本的な姿勢として、さらに具体化に向け取り組みを推進する。</p> <p>2 事業内容 (1) 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催 (2) 一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会との連携事業 (3) デジタルツールを活用した情報発信</p>	<p>1 趣旨 平成20年5月に「松本市ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定し、ユニバーサルデザインの考え方をまちづくりの基本的な姿勢として、さらに具体化に向け取り組みを推進する。</p> <p>2 事業内容 (1) 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催 (2) 一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会との連携事業 (3) デジタルツールを活用した情報発信</p>

【地域づくり課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
買い物弱者相談事業	<p>日常の買い物に不便を感じている人の相談に応じ、情報の提供を実施。解決に向けて関係課及び業者・団体等と連携して対応する。</p> <p>令和4年度相談件数 1件</p>	<p>日常の買い物に不便を感じている人の相談に応じ、情報の提供を実施。解決に向けて関係課及び業者・団体等と連携して対応する</p>

【市民課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
住民基本台帳事務における支援措置	<p>配偶者からの暴力やストーカー行為及び児童虐待などの被害者を保護するため、申し出に基づき、住民基本台帳の閲覧制限・住民票及び戸籍の附票の写しなどの交付を制限する支援措置を実施しました。</p>	<p>配偶者からの暴力やストーカー行為及び児童虐待などの被害者を保護するため、引き続き支援措置の申し出に基づき、住民基本台帳の閲覧制限・住民票及び戸籍の附票の写しなどの交付制限を実施します。</p>
本人通知制度	<p>代理人申請による住民票の写し、戸籍の謄本・抄本の不正取得を防ぎ、個人の権利の侵害を抑止するため、委任者本人宛の通知を速やかに送付しました。</p> <p>また、個人情報保護の条例による開示請求にも迅速に対応しました。</p>	<p>市民に安心や安全を提供するため、代理人による住民票の写し、戸籍の謄本・抄本などを交付した場合は、委任者本人へその交付の事実を速やかに通知します。</p> <p>また、個人情報保護の条例による開示請求があった場合には迅速に対応します。</p>

【福祉政策課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
災害時要援護者支援プラン推進事業	<p>災害時に避難が困難となる障がい者や高齢者等を支援するため、日常から地域で見守る体制や、情報の共有、福祉事業者との連携体制を構築するもの。</p> <p>1 避難行動要支援者名簿の作成及び配付 条例に基づき、本人から個人情報の外部提供に対する拒否の意思表示がない限り、平常時から町会、民生児童委員、自主防災組織など避難支援に携わる者に名簿を提供。地区や町会の実情に応じた見守り・避難支援体制づくりを庁内関係課、社会福祉協議会等と連携して支援する。 (令和5年4月1日現在 名簿掲載者：17,706人 平常時の名簿提供者：13,069人)</p> <p>2 福祉避難所体制の拡充 福祉事業者等と連携し、福祉避難所体制等の充実を図る。 (令和5年4月1日現在29法人71事業所)</p>	<p>災害時に避難が困難となる障がい者や高齢者等を支援するため、日常から地域で見守る体制や、情報の共有、福祉事業者との連携体制を構築する。</p> <p>1 避難行動要支援者名簿の作成及び配付 平常時から地域関係者(町会、民生委員等)に名簿情報を提供するとともに、地区の実情に応じた避難支援体制づくりを庁内関係課や社協と連携して支援する。</p> <p>2 災害時における、高齢者・障がい者に対する配慮・支援する主な事項を周知する。</p>

【障がい福祉課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
障がい者福祉啓発推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 障害者週間に合わせたイベントの開催 新型コロナウイルス感染状況から、1月に発達障がい者の理解と支援についての講演会とシンポジウムを開催。75名の参加があった。 2 障がい者文化芸術祭への参加 9月に開催され、松本市からも多数の参加があった。出展した作品は、会場展示に合わせて特設サイトでも掲載された。県内で優秀作品展も開かれた。 3 障害者差別解消法の周知啓発 「信州あいサポート運動」の紹介を兼ね、研修会を行い、障がいの種類や状況の周知啓発を行った。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 障害者週間に合わせたイベントの開催 2 障害者文化芸術祭への参加 3 障害者差別解消法の周知啓発
障害者権利擁護推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 成年後見制度利用支援事業の推進 申立人が不在の方に対して、市長による申立ができる体制を整えた。また、市民の相談に応じ、制度利用を支援した。 2 成年後見支援センターかけはしとの連携 委託契約をしている成年後見支援センターかけはしと連携し、権利擁護に係る相談支援体制の充実を図った。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 成年後見制度利用支援事業の推進 2 成年後見支援センターかけはしとの連携 「成年後見支援センターかけはし」の運営委託
高齢者・障害者虐待防止ネットワークによる支援	<ol style="list-style-type: none"> 1 協議会の開催（年2回） 関係団体等との連携、情報交換、支援検討を実施した。協議会の事業計画に基づき、周知・啓発を通じて、虐待防止を推進した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 協議会の開催（年2回） 関係団体等との連携、情報交換、事例検討を行う。また、協議会の事業計画に基づき周知・啓発を通じて虐待防止を推進する。

【高齢福祉課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
成年後見制度利用支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度市長申立 実績 10件 ・低所得のため成年後見制度の利用が困難な高齢者に対する成年後見人報酬の助成 実績 12件（申立費用助成10件、報酬助成2件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・判断能力が十分でない認知症高齢者で、成年後見制度の利用が必要な状況にありながら申立人がいない場合に、市長が成年後見等の審判請求を行う。また、生活保護受給者等が後見人への報酬を支払えない場合に、報酬の助成を行う。
高齢者・障害者虐待防止ネットワークによる支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会 7月19日、2月15日開催 ・高齢者・障害者虐待防止市民啓発講演会 2月22日開催 ・虐待防止啓発活動 9月29日実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会（以下：協議会）の開催 ・高齢者・障害者虐待防止研修会 ・関係団体への虐待防止チラシ配布 ・虐待防止啓発活動
高齢者権利擁護推進	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度相談会 実績 6回（隔月開催）18件 	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度相談会 年6回偶数月、高齢福祉課相談室で開催

進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度市民啓発講演会 8月23日開催 ・ 「成年後見支援センターかけはし」への業務委託 ・ 松安筑成年後見ネットワーク協議会 5月16日、11月15日開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度研修会 ・ 「成年後見支援センターかけはし」へ業務委託し、制度の利用促進を図る。 ・ 松安筑成年後見ネットワーク協議会の開催
-----	--	--

【健康づくり課・保健予防課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
自殺予防対策事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 自殺予防対策推進協議会の開催 3回開催（6月・9月・10月） 第3期松本市自殺予防対策推進計画の策定 2 相談支援事業 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設 相談日数243日 実人数124人、延べ人数1,656人 3 気づき見守る地域づくり 地区役員及び希望する団体への自殺予防・こころの健康に関する講座の開催 35地区 1,881人に実施 4 普及啓発の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 若い世代への啓発 <ol style="list-style-type: none"> ア 中学2年生とその保護者への自殺予防に関するパンフレット、リーフレットの配布 市内中学校2年生2,487人とその保護者 イ 中学3年生・高校3年生への啓発 新生活応援レシピへの自殺予防に関する内容の掲載 中3：2,534人、高3：2,862人に配布 ウ 小学4年生とその保護者への相談窓口啓発用絆創膏セット・リーフレットの配布 市内小学校4年生：2,370人に配布 エ 大学生への相談窓口の啓発 2回、90人に配布 (2) SOSの出し方に関する教育 <ol style="list-style-type: none"> ア CAPプログラムを用いた講座 9回、123人に実施 イ 保健師による出前講座 7回、延べ193人に実施 (3) 広報まつもつによる啓発 9月号に特集記事として自殺予防啓発の記事掲載 	<ol style="list-style-type: none"> 1 自殺予防対策推進協議会の開催 2 相談支援事業 自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の開設 3 気づき見守る地域づくり 地区役員等への自殺予防・こころの健康に関する講座の開催 4 普及啓発の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 若い世代への啓発 <ol style="list-style-type: none"> ア 中学2年生とその保護者への自殺予防に関するパンフレット、リーフレットの配布 イ 中学3年生・高校3年生への啓発 新生活応援レシピへの自殺予防に関する内容の掲載 ウ 小学4年生とその保護者への相談窓口啓発用絆創膏セット・リーフレット配布 (2) SOSの出し方に関する教育 (3) 広報まつもつによる啓発 (4) 自殺対策強化月間（3月）にあわせ、図書館にて自殺予防・こころの健康に関するテーマ展示 (5) 検索連動型広告の実施 (6) 自殺予防月間の街頭キャンペーンの実施 5 自死遺族等への支援 自死遺族の会等の周知及び会場の確保

	<p>(4) 自殺対策強化月間（3月）にあわせ、図書館にて自殺予防・こころの健康に関するテーマ展示</p> <p>(5) 検索連動型広告の通年実施</p> <p>(6) 自殺予防月間の街頭キャンペーンの実施</p> <p>5 自死遺族等への支援 自死遺族の会等の周知及び会場の確保</p>	
エイズ・性感染症予防事業	<p>出前講座の実施 学校 108回、7,981人</p>	<p>出前講座の実施 学校等で実施（実施見込み110回 7,596人）</p>

【こども育成課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
子どもにやさしいまちづくり委員会	<p>市民・有識者等（15名）で構成する委員会を開催し、「松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」の進捗状況の検証や子どもに関する施策等についての検討・審議を行っています。</p> <p>委員会を4回開催し、上記計画の進捗状況の検証を行うとともに、第2次子どもにやさしいまちづくり推進計画中間報告書を作成し、市長へ提出しました。</p>	<p>委員会を3回開催予定。</p> <p>「松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」の令和4年度の進捗状況の検証、子どもの権利に関するアンケートの内容の検討等を行います。</p>
子どもの権利相談室「こころの鈴」	<p>子どもの権利侵害に対する救済、回復を支援するための相談室を運営しています。調査相談員4名、子どもの権利擁護委員3名の体制で、相談、調査、調整などを行っています。（相談件数延べ268件）</p> <p>こころの鈴案内カードの作成のほか、こころの鈴通信を年4回発行して市内の小、中、高校の児童生徒に配付して周知を行いました。</p> <p>また、児童センターで出前学習会を開催しました。（1館）</p>	<p>こころの鈴案内カードの作成のほか、こころの鈴通信を4回発行して市内の小中高校の児童・生徒に配付して周知を図ります。</p> <p>児童館・児童センターで出前学習会を開催します。</p>
子どもの権利の普及・啓発事業	<p>子どもの権利の普及・啓発を行っています。</p> <p>・「松本子どもの権利の日」市民フォーラムの開催 子どもによる市への提言等（参加者150人）</p> <p>・まつもと子どもの権利ウィークの実施（11月14日～20日）</p> <p>子どもの博物館等入館料の無料化、ポスターの作成、パネル展、小中学校での校内放送、権利ニュースの発行 ほか</p> <p>・子どもの権利学習パンフレットの発行 子どもの権利に関する学習用パンフレットを発行し、市内小中学校の児童・生徒に配付して、授業等での活用を依頼しました。</p>	<p>子どもの権利の普及・啓発を行います。</p> <p>・「松本子どもの権利の日」市民フォーラムの開催</p> <p>・「まつもと子どもの権利ウィーク」を実施し、集中的にPRします。（11月19日～25日）</p> <p>子どもの博物館等入館料の無料化、ポスターの作成、パネル展、小中学校での校内放送、権利ニュースの発行 ほか</p> <p>・子どもの権利学習パンフレットの発行 市内の小中学校の児童・生徒に配付して、授業等での活用を依頼します。</p>

<p>まつもと 子どもスマイル運動</p>	<p>大人と子どもが積極的に関わりを持つことで、共に笑顔で暮らせる地域社会を目指すため、登録制により「スマイルバンド」（シリコン製リストバンド）を配付し、身につけた大人が、子どもの登下校時の見守りや、笑顔で声かけ（あいさつ）などを行う事業を実施しています。 新規登録者数： 7名 登録者数： 1,299名</p>	<p>大人と子どもが積極的に関わりを持つことで、共に笑顔で暮らせる地域社会を目指すため、子どもの登下校時の見守りや、笑顔で声かけ（あいさつ）などを行う事業を引き続き実施します。 児童館・児童センターでの出前学習会等で周知を図ります。</p>
<p>まつもと 子ども未来委員会</p>	<p>自主応募による子どもたち（小学校5年生から高校3年生まで）37人が、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、自らまちづくりについて考え、市への提言を行いました。 また、市内大学生によるサポーター5名が活動を支援しました。 委員会16回、施設見学、市へのまちづくりの提言</p>	<p>自主応募による子どもたち（小学校5年生から高校3年生まで）が、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、自らまちづくりについて考え、市長への提言を行います。 市内大学生によるサポーターが活動を支援するようにします。 開催回数：15回程度</p>
<p>子ども交流事業</p>	<p>子どもの権利を推進している自治体の子どもたちと松本市の子どもたちが交流しました。 ・福津市との子ども交流事業 福津市で実施（12月25日～28日） 参加者28人（松本市13人） 表敬訪問、文化財・史跡見学、意見交換会、海洋体験等</p>	<p>松本市の子どもたちが子どもの権利を推進している自治体の子どもたちと交流します。 ・「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム（東京都小金井市で開催） 参加者：まつもと子ども未来委員3人 活動の報告、意見交換会等</p>
<p>青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会の開催</p>	<p>1 「地方青少年問題協議会法」及び「松本市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会条例」により設置され、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立のための審議及び連絡調整を実施しています。 2 開催日・内容 (1) 開催日 令和4年7月25日(月) (2) 内容 ア 青少年問題に関わる取組み イ 子どもの権利推進事業に関わる取組み ウ 子どもの居場所づくり推進事業の実施状況 エ 市内小中学校のいじめの状況について オ 学都松本寺子屋事業の取組み カ 青少年ホームの取組み キ 薬物乱用防止啓発事業</p>	<p>1 「地方青少年問題協議会法」及び「松本市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会条例」により設置され、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立のための審議及び連絡調整を実施しています。 2 開催日・内容 (1) 開催日 令和5年8月3日(木) (2) 内容 ア 青少年問題に関わる取組み イ 子どもの居場所づくり推進事業の実施状況 ウ 市内小中学校のいじめの状況について エ 学都松本寺子屋事業の取組み オ 青少年ホームの取組み カ 薬物乱用防止啓発事業</p>
<p>メディア・リテラシー講座</p>	<p>児童や生徒がインターネットやスマートフォンの適切な使い方やルールづくりなどを学ぶための「メディア・リテラシー講座」を市内の小中学校の児童・生徒、保護者、教師を対象に開催しています。</p>	<p>児童や生徒がインターネットやスマートフォンの適切な使い方やルールづくりなどを学ぶための「メディア・リテラシー講座」を市内の小中学校の児童・生徒、保護者、教師を対象に開催しています。</p>

	(35講座〔35校〕を開催) 小学校 20校 2,161人(児童等) 中学校 11校 3,297人(生徒等) 小中学校 4校 181人(児童・生徒等)	(34講座〔34校〕を開催予定)
--	--	------------------

【こども福祉課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
児童虐待相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止、予防のため関係機関との連携を密にするとともに、迅速な対応と必要に応じた的確な支援の実施 ・庁内関係課等との処遇検討会議の継続実施 ・児童虐待予防を目的としたペアレントトレーニングの提供により、子どもに対し不適切な対応をしている親に暴力や暴言を使わずに子どもを育てる技術を伝え、虐待の予防や回復を目指す。 ・ヤングケアラーの家庭に対する支援等について庁内関係課等と協議実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止、予防のため関係機関との連携を密にするとともに、迅速な対応と必要に応じた的確な支援の実施 ・庁内関係課等との処遇検討会議の継続実施 ・児童虐待予防を目的としたペアレントトレーニングの提供により、子どもに対し不適切な対応をしている親に暴力や暴言を使わずに子どもを育てる技術を伝え、虐待の予防や回復を目指す。 ・ヤングケアラーの家庭に対する支援等について庁内関係課等と協議実施
要保護児童対策地域協議会運営	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止のため関係機関との連携を図り、早期発見、早期対応を目的に代表者会議及び年8回の実務者会議を開催 1 代表者会議 1回 2 実務者会議 8回 	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止のため関係機関との連携を図り、早期発見、早期対応を目的に代表者会議及び年8回の実務者会議を開催 1 代表者会議 1回 2 実務者会議 8回
児童虐待防止啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止推進月間にオレンジリボンキャンペーンとして、広報まつもとへの特集ページ掲載、市役所本庁舎や松本駅への懸垂幕・横断幕の掲示を実施 1 広報まつもと11月号に特集ページを掲載 2 11月1日～30日に、懸垂幕・横断幕を掲示 	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止推進月間にオレンジリボンキャンペーンとして、広報まつもとへの特集ページ掲載、市役所本庁舎や松本駅への懸垂幕・横断幕の掲示を実施 1 広報まつもと11月号に特集ページを掲載 2 11月1日～30日に、懸垂幕・横断幕を掲示
子どもの居場所づくり推進事業 (子どもの未来応援事業)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年に策定した「松本市子どもの未来応援指針」に基づき、子どもの権利を侵害する恐れのある状態を子どもの貧困と捉えた。 子どもへの食事提供に加えて、学習支援や生活体験等を行う居場所づくりに取り組み団体へ、「子どもの居場所づくり推進事業」として交付金を交付した。 交付金の区分に、軽食型と学習支援者加算を追加し、新規団体及び新規会場の開設を図った ・実施団体数 14団体(新規3団体) ・実施会場数 16会場(新規3会場) 	<ul style="list-style-type: none"> 新規団体及び新規会場の開設を図り、実施地域の拡大を目指す。(小学校区に1か所以上) ・目標会場数 18会場(新規3会場)
ひとり親相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の総合的な相談に応じ、必要に応じて福祉資金貸付事業や自立支援給付金事業等の案内をするなど、自立に向けた支援をした。 ・相談件数 412件 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の総合的な相談に応じ、その自立に必要な助言、支援及び情報提供を行う。

女性相談事業	女性の民情相談に応じ、その自立に必要な助言を行った。 ・相談件数 485件 (内訳) 夫などからの暴力・ストーカー相談件数 65件(ひとり親を含む)	県及び警察署との更なる連携強化により、生命の危険に及ぶおそれがある相談者の安全確保と自立支援を行う。
--------	--	--

【労政課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
職業・労働相談	職業相談、雇用、賃金、労働時間、職場のトラブルなど、労働関係全般にわたる相談について、専任の相談員を配置して対応しているもの 1 相談日 毎週水曜日の9時～17時 (土日、祝日、年末年始は除く。) ※ 水曜日以外は職員が対応し、必要に応じて他の相談機関を案内 2 実績117件	職業相談、雇用、賃金、労働時間、職場のトラブルなど、労働関係全般にわたる相談について、専任の相談員を配置して対応しているもの 1 相談日 毎週水曜日の9時～17時 (土日、祝日、年末年始は除く。) ※ 水曜日以外は職員が対応し、必要に応じて他の相談機関を案内
勤労者心の健康相談	仕事や家庭・人間関係に悩んでいる勤労者及びその家族、会社関係者等を対象に、専門のカウンセラーが相談に応じるもの 1 相談日 毎月4～5回 第2、第4月曜日13時～16時 第1木曜日8時30分～11時30分 第2、第3木曜日13時～17時 2 実績123件	仕事や家庭・人間関係に悩んでいる勤労者及びその家族、会社関係者等を対象に、専門のカウンセラーが相談に応じるもの。 1 相談日 毎月4回 第1月曜日8時30分～11時30分 第2、第4月曜日13時～17時 第3木曜日13時～17時
労働相談支援事業	労使関係や日常生活での悩みなどの諸問題の解決を図るため、NPO法人ユニオンサポートセンターに委託して専門の相談員(社会保険労務士など)が相談に応じているもの 実績 年間相談件数3,736件	労使関係や日常生活での悩みなどの諸問題の解決を図るため、NPO法人ユニオンサポートセンターに委託して専門の相談員(社会保険労務士など)が相談に応じているもの。
中信地区労働フォーラム	労働諸法、労働経済情勢などの学習の場として、長野県との連携により、中信地区労働フォーラム(労働問題専門講演会、労働教育講座等)を開催し、労働者の意識向上に努めているもの 1 開催日 令和4年10月19日(水) 「労働契約等解説セミナー2022」 講師 COCORO 社会保険労務士法人 特定社会保険労務士 齋藤 直登 氏 2 開催日 令和5年2月7日(火) 「職場のハラスメント防止」 講師 (株)コミュニケーションズ・アイ 代表取締役社長 伊藤 かおる 氏	労働諸法、労働経済情勢などの学習の場として、長野県との連携により、中信地区労働フォーラム(労働問題専門講演会、労働教育講座など)を開催し、労働者の意識向上に努めているもの。 労働問題専門講演会や労働教育講座など2回開催予定

【住宅課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
市営住宅へのDV被害者受入事業（緊急入居）	DV被害者を市営住宅へ緊急入居者として受け入れるもの（期間3カ月、最長1年、実績1件）	DV被害者を市営住宅へ緊急入居者として受け入れるもの（期間3カ月、最長1年）
松本市パートナーシップ宣誓者の市営住宅への入居の受付	松本市パートナーシップ宣誓書受領証または受領カードの写しをお持ちの世帯を市営住宅の入居世帯として受け付けるもの（実績0件）	松本市パートナーシップ宣誓書受領証または受領カードの写しをお持ちの世帯を市営住宅の入居世帯として受け付けるもの

【教育政策課】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
第3次松本市教育振興基本計画の推進	<p>施策別主要事業の進捗状況を確認し、各事業の確実な実施と改善、及び新型コロナウイルス感染症に対応した新規の人権施策等の推進に努めました。</p> <p>また、令和3年度の計画期間満了を控え、第3次教育振興基本計画の策定を推進しました。市民による策定委員会を8回開催し、多様な価値観を認め合い、松本市子どもの権利に関する条例を大切に学ぶの基本計画の策定に向け意見交換を行いました。</p>	令和4年6月に策定された第3次教育振興基本計画に沿って、引き続き施策別主要事業の進捗状況確認を行い、各事業の確実な実施と改善を行います。

【学校教育課 学校支援室（令和3年度 学校教育課 学校支援センター）】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
学校人権教育研究協議会	<p>1 開催日 7月11日（月）</p> <p>2 開催方法 参集開催</p> <p>3 内容 (1)人権教育講演（性の多様性について） (2)公開授業校の研究内容発表 等</p>	<p>1 開催日 7月14日（金）</p> <p>2 開催方法 参集</p> <p>3 内容 (1)人権教育講演（同和問題の現状と学校での取り組みについて） (2)公開授業校の研究概要発表 等</p>
人権教育研修会	<p>1 学校人権教育研修推進委員会 5月27日（月） オンライン開催</p> <p>2 中信地区社会人権教育研修会への参加 7月29日（金） 参集開催</p> <p>3 指導方法等研究会への参加 ①4月28日（木） ②7月26日（火） ③12月2日（金） ④2月17日（金）</p>	<p>1 学校人権教育研修推進委員会 5月31日（水） 参集</p> <p>2 中信地区社会人権教育研修会への参加 8月4日（金） 参集</p> <p>3 指導方法等研究会への参加 ①4月21日（金） ②7月25日（火） ③12月1日（金） ④2月16日（金）</p>

	このうち④には不参加 8月19日(木) オンライン開催	
平和を祈る詩の朗読会	1 平和を祈る詩の募集 市内全小中学校から作品募集 2 平和を祈る詩の展示及び朗読会 全募集作品を展示し、選抜された児童生徒による朗読会を7月23日(土)に松本市美術館にて実施	1 平和を祈る詩の募集 市内全小中学校から作品募集 2 平和を祈る詩の展示及び朗読会 全募集作品を展示し、選抜された児童生徒による朗読会を7月22日(土)に松本市美術館にて実施
冊子の作成と活用	以下2つのPDF冊子の作成と活用周知 1 「教師自身の豊かな人権感覚」 教師自身が、子どもたちとの生活の中で自己の人権感覚のあり方を省みるもの 2 「学校人権教育実践記録」 学校における人権教育の実践記録	以下2つのPDF冊子の作成と活用周知 1 「教師自身の豊かな人権感覚」 教師自身が、子どもたちとの生活の中で自己の人権感覚のあり方を省みるもの 2 「学校人権教育実践記録」 学校における人権教育の実践記録
公開授業の実施	市内2校による研究及び公開授業の実施 ・菅野中学校 10月25日(火) ・岡田小学校 11月10日(木)	市内2校による研究及び公開授業の実施 ・梓川中学校 10月31日(火) ・鎌田小学校 11月27日(月)
パラスポーツ出前講座	パラリンピアンによる「パラスポーツ出前講座」または、「パラ学」の活用・実施希望校を募集	

【生涯学習課・中央公民館】

事業名	令和4年度実績	令和5年度計画・実績
多文化共生事業	<p>地域在住の外国由来の住民を対象に、日本語習得の機会を提供。また、学習を通じて相互理解を深めながら多文化共生社会の実現を目指す。</p> <p>1 日本語講座 5月～3月(全41回)、延べ256人参加 新型コロナウイルスの影響で、4月から5月下旬まで休講とした。 中央公民館のほか、庄内地区公民館、松南地区公民館、芳川公民館、波田公民館で実施</p> <p>2 木曜午前ボランティア日本語教室 6月～3月(全32回)、延べ116人参加 外国籍住民を対象に日本語取得の機会を提供する。 新型コロナウイルスの影響で、4月から6月中旬まで休室としたが、代替として一部スタッフによるオンラインでの授業などを試験的に実施した。</p> <p>3 松本市ヤングにほんご教室 4月～2月(全42回)、延べ105人参加 外国由来の子どもたちを対象に、日本語指導及び教科指導、居場所づくりを行う。</p>	<p>地域在住の外国由来の住民を対象に、日本語習得の機会を提供。また、学習を通じて相互理解を深めながら多文化共生社会の実現を目指す。</p> <p>1 日本語講座 4月～3月(全50回)中央公民館のほか、庄内地区公民館、松南地区公民館、芳川公民館、波田公民館で実施</p> <p>2 木曜午前ボランティア日本語教室 4月～3月(全43回) 外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供する。</p> <p>3 松本市ヤングにほんご教室 ヤングにほんご教室 4月～3月(全43回) 外国由来の子どもたちを対象に、日本語指導及び教科指導、居場所づくりを行う</p> <p>4 松本みんなのにほんご教室 4月～2月(全74回) 外国由来の就学・就労希望の成人に対しての日本語学習支援</p> <p>5 日本語ボランティアきっかけ講座 開催時期等未定 指導ボランティア不足解消に向けた基礎講座</p>

	<p>開催日を土曜日午後から火曜日夜間に変更した。</p> <p>4 松本みんなのほんご教室 4月～2月(全70回)、延べ450人参加 外国由来の就学・就労希望の成人に対してのほんご学習支援</p> <p>5 「第12回こいこい松本—多文化共生と国際交流の祭り—」 6月29日(日)、延べ163人参加 規模を縮小し、3年ぶりに対面開催。松本周辺に居住する外国籍住民・外国由来の人を中心にした交流会を開催し、互いの文化への理解を深め、親睦を図った。</p> <p>6 聴覚障がい者と学ぶ成人学校 10月～2月(全5回)、延べ63人参加 「多文化共生」をテーマに実施。外国人住民に講師を依頼し、ろう者と聴者と一緒に世界の料理や文化を学習した。 (1) 台湾料理と食文化「豆花」14人参加 (2) ベトナム料理と文化「ネムラン」13人参加 (3) フィリピン料理と文化「レチェ・フラン」14人参加 (4) アルゼンチン料理と文化「ヌガトン」11人参加 (5) タイ料理と文化「サバ缶のレッドカレー」11人参加</p>	<p>6 日本語ボランティアスキルアップ講座 開催時期等未定 指導ボランティアの発展学習講座</p> <p>7 松本国際ふるさと祭り「第13回こいこい松本」 6月25日(日) 松本周辺に居住する外国籍住民・外国由来の人を中心にした交流会を開催し、互いの文化に触れ、理解を深め、親睦を図るもの</p>
<p>障害者学習支援事業</p>	<p>聴覚障がい者の学習支援と社会参加への意識向上を目指すとともに、共生社会の実現に向け、障がいへの理解を深め、人権・ノーマライゼーション意識を醸成する。</p> <p>1 聴覚障がい者と学ぶ成人学校 10月～2月(全5回)、延べ63人参加 「多文化共生」をテーマに実施。外国人住民に講師を依頼し、ろう者と聴者と一緒に世界の料理や文化を学習した。 (1) 台湾料理と食文化「豆花」14人参加 (2) ベトナム料理と文化「ネムラン」13人参加 (3) フィリピン料理と文化「レチェ・フラン」14人参加 (4) アルゼンチン料理と文化「ヌガトン」11人参加 (5) タイ料理と文化「サバ缶のレッドカレー」11人参加</p> <p>2 手話教室</p>	<p>聴覚障がい者の学習支援と社会参加への意識向上を目指すとともに、共生社会の実現に向け、障がいへの理解を深め、人権・ノーマライゼーション意識を醸成する。</p> <p>1 聴覚障がい者と学ぶ成人学校 10月～2月(全5回)、募集人員：各15人</p> <p>2 手話教室 (1) 中級者向け手話教室 5月～10月(昼・夜、各10回)、募集人員：15人 (2) 高校生向け手話教室 8月(全3回) 昼のみ 募集人員：20人 手話を通じてろう者への理解を深め、お互いに信頼し尊重し合い、将来に結び付ける。 (3) 初心者向け手話教室 10月～2月(昼・夜、各10回)、募集人員：20人</p>

	<p>(1) 初心者向け手話教室 10月～3月(昼・夜、各10回) 延べ374人参加</p> <p>(2) 高校生向け手話教室 8月8日、9日、12日 延べ28人参加 従来の入門者教室及び中級者教室に加え高校生対象教室を新設。手話を通じて人間関係を深め、将来に結び付けることを目的に開催。通学時の安全性を考慮して昼のみ開催。</p> <p>(3) 中級者向け手話教室「手話で学ぶ手話教室」 手話奉仕員養成講座修了程度を対象に講座を開催 5月～10月(昼・夜、各10回) 延べ187人参加 手話奉仕員養成講座修了程度を対象に、手話通訳を配置せずにもろろ者2名の講師体制で、手話表現及び読み取りの技術向上を目指した。</p>	
<p>地域課題解決に向けた学習活動の展開(地区公民館)</p>	<p>地区人権啓発推進協議会をはじめ、公民館委員、学級講座の企画委員、地区担当職員などによる話し合いから、地域課題の解決に向けた地域づくり学習、活動として実施</p>	<p>地区人権啓発推進協議会をはじめ、公民館委員、学級講座の企画委員、地区担当職員などによる話し合いから、地域課題の解決に向けた地域づくり学習、活動として実施</p>